

平成29年11月10日

上場会社名 平和紙業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9929 URL <http://www.heiwapaper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 高木 修

TEL 03-3206-8501

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,200	2.9	50	44.3	98	23.7	61	22.4
29年3月期第2四半期	9,479	5.4	91	20.3	129	14.8	78	11.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 171百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 13百万円 ( 92.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	6.28	
29年3月期第2四半期	8.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	17,393	8,534	49.1	878.72
29年3月期	17,084	8,475	49.6	859.36

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 8,534百万円 29年3月期 8,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		5.00	10.00
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,078	2.6	228	14.5	295	10.9	189	9.7	19.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	10,116,917 株	29年3月期	10,116,917 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	404,099 株	29年3月期	254,099 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	9,746,425 株	29年3月期2Q	9,862,885 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続く中で、設備投資や個人消費の持ち直し等から、内需主導の緩やかな回復基調にあります。

紙パルプ業界におきましては、段ボール原紙や紙器用白板紙など板紙の国内出荷量が、食品関連需要の増加によって前年同期実績を上回りました。一方で、印刷用紙においては保険・金融関連が堅調で、通信関連・通販カタログ・カレンダー需要等にも動きがあったものの、紙の国内出荷量全体としては前年同期実績をやや下回りました。

このような経済状況のもとで、当社グループは第9次3ヶ年計画の最終年度を迎え、安定的に収益をあげられる高収益基盤の確保を、最重要課題として取り組んでまいりました。しかしながら、特殊紙関連分野の需要が伸び悩んだことや、紙媒体をめぐる需要構造の変化によるマイナス影響等により、当社が主力としているファンシーペーパー・ファインボード・高級印刷紙の特殊紙3品目を含むすべての品目で前年同期実績を上回ることができませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高92億円（前年同四半期比2.9%減）、経常利益98百万円（前年同四半期比23.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61百万円（前年同四半期比22.4%減）となりました。

<当社の商品別の概況>

当社グループは、和洋紙の販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであり、当社の和洋紙卸売業の売上高は連結売上高の90%超を占めるため、当社の商品別の概況を記載しております。

品目別	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	2,133	23.8	2,091	24.0	△2.0
ファインボード	1,042	11.7	958	11.0	△8.1
高級印刷紙	2,101	23.5	2,077	23.9	△1.1
ベーシックペーパー	2,528	28.3	2,475	28.5	△2.1
技術紙	992	11.1	972	11.2	△2.0
その他	142	1.6	120	1.4	△15.2
合計	8,940	100.0	8,696	100.0	△2.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持ち装飾性の高いファンシーペーパーは、デザイン企画部門への継続したPR活動や各種商品展示会の開催の結果、書籍向けが若干回復、また東アジア向けの輸出も好調に推移しました。しかしながら封筒等の紙製品や販促物等の小口商業印刷用途が低調に推移し、売上高は20億91百万円、前年同四半期比2.0%の減少となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの高紙厚品(板紙)で、高級商品のパッケージ、書籍表紙、各種販促物に使用されるファインボードは、パッケージ需要の伸びに一服感があり、各種販促物や音楽関連商品の動きも低調に推移したため、売上高は9億58百万円、前年同四半期比8.1%の減少となりました。

[高級印刷紙]

ハイグレードな印刷用途、名刺、カード、書籍類に使われる高級印刷紙は、書籍用途や封筒、名刺等の紙製品が堅調に推移しましたが、高級パンフレット、カレンダーや冊子等の商業印刷物の販売量が伸び悩み、売上高は20億77百万円、前年同四半期比1.1%の減少となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、コート紙、色上質紙、包装用紙、各種板紙等のベーシックペーパーは、書籍向けや医療品・化粧品パッケージ用途等が堅調に推移しましたが、商業印刷物用途や海外向け販売量の減少が影響し、売上高は24億75百万円、前年同四半期比2.1%の減少となりました。

[技術紙]

通常の紙にない特殊機能を付与した技術紙は、各種工業品製造用工程紙や合成紙の販売量は増加しましたが、耐水撥水性機能紙、各種製造用原紙等の需要変動が大きく、売上高は9億72百万円、前年同四半期比2.0%の減少となりました。

[その他]

ペーパータオル等家庭紙の販売量は前年並みでしたが、製紙関連資材や各種紙加工製品の販売量が低下し、売上高は1億20百万円、前年同四半期比15.2%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3億9百万円増加して、173億93百万円となりました。主な要因は、有価証券1億円が減少いたしましたが、現金及び預金1億6百万円、受取手形及び売掛金40百万円、電子記録債権1億79百万円、投資その他の資産97百万円が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて2億50百万円増加して、88億58百万円となりました。主な要因は、未払法人税等18百万円が減少いたしましたが、支払手形及び買掛金2億66百万円が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて59百万円増加して、85億34百万円となりました。主な要因は、自己株式の取得により63百万円が減少いたしましたが、利益剰余金11百万円、その他有価証券評価差額金1億10百万円が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年10月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

平成30年3月期の連結業績につきましては、以下の通り見込んでおります。

売上高	20,078百万円	(前期比 2.6%増収)
営業利益	228百万円	(同 14.5%増益)
経常利益	295百万円	(同 10.9%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	189百万円	(同 9.7%増益)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,811,664	2,918,396
受取手形及び売掛金	5,667,728	5,708,582
電子記録債権	976,457	1,156,133
有価証券	100,000	-
商品	3,676,763	3,660,827
貯蔵品	66,356	60,821
その他	177,003	193,773
貸倒引当金	△6,387	△6,611
流動資産合計	13,469,584	13,691,922
固定資産		
有形固定資産	838,418	831,437
無形固定資産	25,501	22,194
投資その他の資産		
投資有価証券	2,332,738	2,490,502
その他	424,581	363,996
貸倒引当金	△6,244	△6,244
投資その他の資産合計	2,751,074	2,848,254
固定資産合計	3,614,993	3,701,886
資産合計	17,084,578	17,393,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,485,052	5,751,736
短期借入金	2,323,782	2,312,647
未払法人税等	56,106	37,850
賞与引当金	71,103	58,442
その他	208,748	199,768
流動負債合計	8,144,792	8,360,445
固定負債		
退職給付に係る負債	189,497	195,524
資産除去債務	63,468	64,135
その他	211,060	238,778
固定負債合計	464,027	498,439
負債合計	8,608,820	8,858,885
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	3,540,728	3,552,697
自己株式	△123,856	△186,856
株主資本合計	7,856,103	7,805,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	615,095	725,706
為替換算調整勘定	4,559	4,145
その他の包括利益累計額合計	619,654	729,851
純資産合計	8,475,758	8,534,924
負債純資産合計	17,084,578	17,393,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,479,643	9,200,839
売上原価	7,679,414	7,487,757
売上総利益	1,800,228	1,713,082
販売費及び一般管理費	1,709,005	1,662,230
営業利益	91,223	50,852
営業外収益		
受取利息	3,155	712
受取配当金	19,289	29,895
受取賃貸料	18,905	22,032
その他	5,111	4,150
営業外収益合計	46,462	56,790
営業外費用		
支払利息	3,681	3,522
賃貸用資産減価償却費	2,816	2,489
為替差損	—	679
その他	1,967	2,309
営業外費用合計	8,464	9,001
経常利益	129,221	98,641
特別損失		
固定資産除売却損	229	555
ゴルフ会員権評価損	—	825
特別損失合計	229	1,380
税金等調整前四半期純利益	128,992	97,260
法人税、住民税及び事業税	22,815	24,812
法人税等調整額	27,247	11,165
法人税等合計	50,063	35,977
四半期純利益	78,929	61,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	78,929	61,283

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	78,929	61,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,854	110,610
為替換算調整勘定	△32,923	△413
その他の包括利益合計	△65,778	110,196
四半期包括利益	13,150	171,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,150	171,480

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	128,992	97,260
減価償却費	35,768	27,997
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38,264	△12,659
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	825
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17,922	223
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△687	6,026
受取利息及び受取配当金	△22,445	△30,607
支払利息	3,681	3,522
固定資産除売却損益 (△は益)	229	555
売上債権の増減額 (△は増加)	374,514	△220,648
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,583	21,128
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	21,719	△26,421
仕入債務の増減額 (△は減少)	△293,557	266,726
その他の負債の増減額 (△は減少)	△9,923	△18,009
その他	29,039	602
小計	200,560	116,523
利息及び配当金の受取額	24,302	31,800
利息の支払額	△3,621	△3,584
法人税等の支払額	△111,406	△37,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,834	106,951
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,312	△7,184
有形固定資産の売却による収入	—	43
無形固定資産の取得による支出	△831	—
投資有価証券の取得による支出	△71,271	△19,354
投資有価証券の償還による収入	200,000	100,000
その他	23,173	52,216
投資活動によるキャッシュ・フロー	149,758	125,721
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	308,277	△10,945
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,553	△2,718
自己株式の取得による支出	△36	△63,000
配当金の支払額	△69,040	△49,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	234,647	△125,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,598	35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	489,641	106,731
現金及び現金同等物の期首残高	2,268,071	2,811,664
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,757,712	2,918,396

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません